

第 5 回 JEAG4803 方針検討タスク 議事録

1. 日 時：2022 年 10 月 17 日（月）13：30～17：00

2. 場 所：日本原電本社 会議室（Web 併用会議）

3. 出席者（敬称略，順不同）

出席委員：永田主査(日本原子力発電)，小倉(ウツエハルブサービス)，関(九州電力)，
出町(東京大学)，仲井(元日本原子力研究開発機構)，葛西(日本電気協会)

(計 6名)

代理出席者：なし

(計 0名)

欠席委員：なし

(計 0名)

常時参加者：なし

(計 0名)

オブザーバ：なし

(計 0名)

事務局：葛西，田邊(日本電気協会)

(計 2名)

4. 配付資料：別紙参照

5. 議 事

会議に先立ち事務局より，本会議にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後，議事が進められた。

(1) 代理出席者，説明者，オブザーバの承認，定足数確認，配付資料確認，前回議事録確認 等

a) 事務局より配布資料の確認の後，資料 No.5(1)-①，②を用いてタスク委員 6 名に対して出席委員数は 6 名で，タスクグループ規約第 9 条（決議）第 1 項の決議条件である委員総数の 3 分の 2 以上の出席を満たしていることを確認した。その後，資料 No.5(1)-③を用いて，前回議事録の紹介があり，正式議事録にすることについて，タスクグループ規約第 9 条（決議）第 1 項に基づき決議の結果，特にコメントはなく，5 分の 4 以上の賛成で承認された。

b) 事務局より，前回議事録にある「規格廃止には，規約に基づく対応が必要であるため，その対応を行う依頼先として新規検討会の設置を提案する。」を踏まえ，資料 No.5(1)-③-参考 1 により運転・保守分科会長より「検討会の設置について」が分科会に提案され，書面審議の結果，資料 No.5(1)-③-参考 2 により可決であったことが情報共有された。その際，分科会委員より意見を頂いており対応方針について本タスクにて検討した内容が資料 No.5(1)-④であり，意見者全員よりこの対応方針で了解頂いた後に，分科会長より分科会委員に新たな検討会の人選が依頼され，検討会委員候補について回答が集まった状態であることが報告された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

・ 新たな検討会のミッションを再度確認したい。

→ 山口分科会長の提案資料では「分科会方針に沿って規格の廃止の審議を行い，検討会原案を作成する」が主ミッションとしつつ「ただし，規格と関連する海外及び国内の規格・基準との整合性を確認する必要がある。そこで，規格と関連する海外及び国内の規格・基準との整合性の

調査・検討を、必要に応じて実施するものとする。」として、ASME O&M 最新版ウォッチの責務は無いものの、必要に応じて調査することにも言及している。

→ 次回の運転・保守分科会は 12 月予定であり、新たな検討会の名簿が承認され、本タスクの報告に対して大きな意見がなければ、新たな検討会に対して引継ぎを行うことで、本タスクは解散となると考えている。それ以降は 2023 年度活動計画に従うことになるが、提案資料における検討例としては 2023 年度中に新たな検討会で手続きを進め、2024 年度中に公衆審査のスケジュール感が考えられている。

c) 委員より、資料 No.5(1)-⑤-1, 2 を用いて、前回のタスクで保守管理検討会に確認依頼された事を踏まえて、保守管理検討会での議論内容と結果「保守管理検討会としては ASME O&M 最新版の確認の優先度は低いため不要」が報告された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 第 4 回 JEAG4803 方針検討タスクにおいて提案があった、「JEAG4803 パート E 評価で抽出された他規格等へ記載を残した方がよい」との意見があった項目について、保守管理検討会の結論としては「JEAG4803 パート E 評価結果で抽出された箇所は、保守管理について規定している JEAC4209/JEAG4210 の有益なインプット情報とはなり得ず、ASME O&M 最新版の確認の優先度は低いため不要との意見が多数」で「今後の JEAC4209/JEAG4210 改定に向けて、海外情報の一つとして ASME O&M 最新版の必要箇所を部分的に確認してもよいのではないかとの意見も一部」であった。
- 第 4 回 JEAG4803 方針検討タスクのまとめ③は、保守管理検討会の意見を踏まえても覆す程の意見ではなかったと捉えている。よって、結論は「③原案作成は保守管理検討会とすることを提案する。その際、保守管理検討会が技術資料としての制定でなく、JEAC4209 もしくは JEAG4210 の改定として原案作成する事も可能とする。」で変えず、保守管理検討会からの意見を踏まえて「その際、保守管理検討会としては ASME O&M 最新版の確認の優先度は低い意見が多数であり、一部の意見として ASME O&M 最新版の必要箇所を部分的に確認してもよいとのことを踏まえ、JEAC4209 もしくは JEAG4210 の次回改定検討時でなく、次々回改訂検討において対応する事も可能とする。」と期限を次回改正でなく次々回改正の約 8～10 年後迄を許容するスケジュール感でどうか。
- 保守管理検討会からの資料は纏められていて個々の意見が見えないが、ユーザーである全事業者はニーズ無しで「ASME O&M 最新版の必要箇所を部分的に確認してもよい」と意見しているのはメーカー委員からであるため、保守管理検討会としてはニーズ無しであり、保守管理検討会は実施しない事で決まりなのではないか。
- ASME O&M 最新版のウォッチは、平成 7 年の電事連の依頼で運転・保守分科会が担い、そのために運転保守指針検討会が立ち上がったので、本件にマッチするのは運転保守指針検討会であるが、既に廃止済である。よって保守管理検討会にミートしないのは最初から分かっているが、新たな検討会は廃止手続きのための検討会であり、運転保守指針検討会ではない。そうすると、保守管理検討会と新たな検討会のどちらもミートしないが、どちらがより親和性があるか、どちらがより近いポジションかを考えると、やはり保守管理検討会であると考えられる。保守管

理検討会では実施しないと決めて、まだ存在していない新たな検討会に実施をさせる事は欠席裁判にも感じる。

- 新たな検討会が、廃止手続きのために必要であれば ASME O&M 最新版の必要箇所を確認するかも知れないが、ASME O&M 最新版をウォッチさせることは、分科会での追加の決議でもない限り正しいやり方では無いと思う。かと言って、保守管理検討会に ASME O&M 最新版をウォッチしてもらうのも違う。
- 御指摘の通りであるが、保守管理検討会からニーズ無しの結論は ASME O&M 最新版の必要箇所を部分的にも確認せずに回答しているため、優先度を下げても良いが ASME O&M 最新版の必要箇所を部分的に確認してもらう。そうする事で、正しく JEAC4209/JEAG4210 への反映事項が無いと分かり、その確認成果を技術資料として残しつつ、「ASME O&M 最新版をウォッチする検討会は保守管理検討会ではなく、別の検討会である。」と提案してもらう。その提案を踏まえて、規格廃止のための検討会が存続していれば、その検討会に所掌させる審議・決議を分科会でも良いし、ASME O&M 最新版をウォッチする検討会を立ち上げて良い。その様な長いスパンで ASME O&M 最新版をウォッチする体制に戻すにはそれなりに時間と手続きが必要と考えている。それ迄の間は、検討会を廃止した分科会に責任があると考えられる。
- ASME O&M 最新版の必要箇所を部分的にも確認するにしても、ASME O&M は当時と構成がガラリと変わっていて、必要箇所を部分的に確認しようとしても簡単でなく、全体的に確認が必要になってしまう事も考えられる。
- ・ 前回の報告書（案）における「②JEAG4803 パートE評価結果纏めについては、他の規格への最新知見のために分科会で技術資料として制定することを提案する。」は本タスクとして書き過ぎで「技術資料とするべきかを確認する」程度の確定的でない記載が良いのではないか。
- 「規格として有益である可能性のある記載」と分科会委員から評価されていることだけで「技術資料として制定する」とするのは書き過ぎだったため、今回の報告書（案）に反映している。
- そうすると、運転・保守分科会委員の立場として有益そうなので「指針(JEAG4210)に記載できるか検討会に依頼するべき。」との意見だったとして、それを受けて保守管理検討会で確認した結果、「JEAC4209 と JEAG4210 には有益なインプット情報になり得ない」との意見であるので、運転・保守分科会全体としては有益そうだとすると、保守管理検討会には有益でない。となるのが、現時点での結果ではないか。
- 分科会委員と保守管理検討会の評価がどちらも正しいとすれば、その通りであると思われる。もしくは、どちらかの評価が誤っているのかも知れない。分科会委員の評価や保守管理検討会の結果に対して再確認に戻る事も選択肢としてはありうるが、「新たな検討会で必要に応じて技術資料とするべきかを確認する」として提案することで進めたいが如何か。
- 新たな検討会のミッションには「規格と関連する海外及び国内の規格・基準との整合性を確認する必要がある。」とあるため、「必要に応じて技術資料とするべきかを確認する」との事であれば、その提案が良いのではないか。

(2) JEAG4803 方針検討タスクの進め方・スケジュール, JEAG4803 に関する 2023 年度活動計画 (審議)

a) 委員より資料 No.5(2)-①, No.5(2)-①-参考を用いて, JEAG4803 方針検討タスクの進め方・スケジュールについて説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.5(2)-①で 3.他の分科会との調整についてという所は, 「必要に応じて対応」となっているが, 本タスクとして必要なミッションではないので削除が良いのではないか。
- 確かに。そもそも本タスクとしてでなく, もっと大きな組織単位としてのミッションであったのだと考えを改めた。ただし, これまで「必要に応じて対応」について本来対応が必要なのに行ってこなかったのではなく, 本タスクとして打ち出しするには検討途中の項目があり, 分科会幹事は新任したばかりのタイミングで, 更に基本方針策定タスクとしても技術評価における NRA 指摘対応に精一杯の状況であったため, 頃合いを伺っていたのが実情。よって, 次回の基本方針策定タスクには運転・保守分科会の四半期活動報告として規格廃止に関する歴史の様な資料を報告してディスカッションするのが良いと考えている。それは本タスクとしてのミッションではないので当該項目を消すことに私は賛成であるが, このスケジュールは前回のタスクで決議されているため, 審議・決議した結果として承認されれば, 削除した上で分科会に諮る資料だと思っている。
- ・ 次の頁の資料 No.5(2)-①-参考の 3.スケジュールで最後の「なお, ASME OM 規格の最新版の確認は, その所掌される検討会で最新知見検討として必要に応じて行うこととする。」とは分科会ではなく検討会なのか。
- 所掌される検討会であるが, まだ所掌が決まっていないということで, 改定前からこの表現になっている。先ほどからの議論を踏まえると記載変更が必須になるような気がする。
- ・ この部分は消してしまった方が良いのではないか。
- 他の関連する資料も含めて, 削除することにする。
- ・ 今までの意見を反映し, 資料を改定 2 ということで修正したい。
- ・ 意見が出尽くしたと思うので, 資料 No.5(2)-①の 3.他の分科会等との調整についての部分は削除。資料 No.5(2)-①-参考の 3.スケジュールのなお書きの部分は, 関連する資料も含めて削除し改定 2 としたうえで, 分科会報告資料とすることについて決議を取りたいと考える。

○ 特に異論がなかったため, タスクグループ規約第 9 条 (決議) 第 1 項に基づき挙手にて決議の結果, 全員賛成で承認された。

b) 委員より, 資料 No.5(2)-②を用いて, 運転・保守分科会 2023 年度活動計画(案)のうち, JEAG4803-1999 について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ JEAG4803-1999 の 2023 年度活動計画 (案) は新たな検討会が分科会に諮るのではないか。
- 現時点において新たな検討会設置は可決しているが, 検討会委員は承認されておらず主査等の体制も確立していない。それを待ってからでは 2023 年度活動計画を審議する分科会スケジュールから外れるため, JEAG4803-1999 の 2023 年度活動計画 (案) は本タスクにて諮り, 検討会

委員も承認されたならば、引き継ぐことで本タスクは解散となる。

- ・ 資料 No.5(2)-②の 30 頁の 2022 年度の活動実績の所で、「JEAG4803 の方針について」とあるが、「方針」は「扱い」に修正した方が良い。その他、誤字も見受けられるため合わせて修正願う。

→ 修正する。

- ・ 資料 No.5(2)-②の誤字及び意見を反映したものを運転・保守分科会に上程することについて決議を取りたいと考える。

○ 特に異論がなかったため、資料 No.5(2)-②の 2023 年度活動計画（案）を今回の意見を反映して修正し、運転・保守分科会に上程するかについて、タスクグループ規約第 9 条（決議）第 1 項に基づき挙手にて決議の結果、全員賛成で承認された。

(3) 分科会での報告書概要について

永田主査より資料 No.5(3)に基づき、分科会での報告書概要について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 8 頁の所であるが、廃止については運転・保守分科会で承認済という形で作成されたのか。

→ 8 頁については、前回分科会報告資料から中身については変えておらず、この内容で廃止の方針について分科会承認済である。Case の所にパターンを追記して 7 頁と紐付けしたところが変わったが、中身については変っていない。

- ・ 資料 No.5(3)の 5 頁と 7 頁は同じことが書いてあるが如何か。

→ 5 頁を削除する。

- ・ 7 頁での技術資料対応の Yes, No の所で「指針の廃止」と、「技術資料の発行」が書かれているが、規約上の意味はどうか。

→ 規約を読むと、必ずしもこの様な Yes/No の流れになっておらず、JEAG4803-1999 の扱いについて私が考えるとフローとしてこの様になるという趣旨である。その意図は、技術資料をいきなり作成することはあり得なくて、技術資料を作成することは規格を廃止する場合であって、規格は廃止するが部分的でも残しておいた方がよい記述や考察を技術資料として残す。そういう流れしかないのではないかと思っている。

- ・ まとめ③「ASME OM の動向確認、最新知見の確認の所掌について。本タスクのミッションとしては、その所掌提案については対象外である。」と提案すること、前回のタスクでも同様の議論したが皆の感触は同じであるか確認したい。また、以降の→の記載は不要かも知れないとされていた箇所でもある。

→ 本タスクのミッション外であることは異論ないが、→以降の文章は削除で良くて、そもそも「③」が提案になっていないので削除で良いのではないか。

→ 削除で良いかも知れないが、記載が残っていても問題ないのではないか。

→ 運転・保守分科会で次回議論すべきポイントにはならないか。議論するためには記載を残しておいた方が良いのではないか。

→ 今は必要でなくとも何年後かに必要になるのかも知れない可能性を仮に秘めていたとしても、

事業者の喫緊の課題が再稼働・特重・新検査制度の様な最優先事項が先で、次回の分科会で議論した所で必要性を感じていないのでニーズ無しとして安易に落とされると考えられる。そのため、次回の分科会では本タスクからは触れない方が良いと思う。そうゆう意味で分科会提出時に削除することは同意できるが、新たな検討会に引き継ぐ際には備忘として残しておきたい。

- 次回の分科会では積極的に触れないとしても、分科会としての課題が残り続ける事になるため、報告書としてはガラつかせる今の記載で良いのではないかな。
- ・ 10 頁の「所掌される検討会で検討する」というのは修正するのか。
- パワーポイントの記述には新たな作文はなくて、何かから切り取って作成しているので、整合している。切り取った資料が修正されれば整合させて修正する。
- ・ 10 頁に「JEAG4803-1999 は廃止が承認」とあるが、「JEAG4803-1999 は廃止の方針が承認」に修正してはどうか。
- 拝承。全体見て、他の箇所にもあれば同じく修正する。
- ・ 3 番目の矢羽根で「確認維持するかということであるが、これについては」とあるが「確認維持するかについては」に、「ASME の OM」は、「ASME OM」修正してはどうか。
- 第 49 回の分科会議事録の切り取りである場合は、そのままとなるが、修正出来る場合には修正する。
- ・ 4 番目の矢羽根で「時間軸でも」は、「時間的余裕があるため」に修正する。
- ・ 1 番目の矢羽根で「そ の」となっているが、「その」に修正する。
- ・ 9 頁の②の所で、「新規検討会で必要性も含めて検討会原案を作成する」とは「新規検討会で技術資料の必要性も含めて検討会原案を」となるのではないかな。
- 拝承。
- ・ 8 頁の Case2-1 はパターン B, Case 4 はパターン C, D に修正する。
- ・ 6 頁の 2 ポツ目「分科会電力委員」は、「保守管理検討会」に修正する。また、3 ポツ目の「廃止とすることについて」は、「廃止する方向性について」に修正する。
- ・ 10 頁の最初の所で「確認認」となっているが、ここは「確認」に修正する。これまでの意見について報告書の方も同じ記載になってる箇所については修正する。

(4) JEAG4803 方針検討タスクでの報告書案について（審議）

永田主査より資料 No.5(4)に基づき、JEAG4803 方針検討タスクでの報告書案について説明があった。

JEAG4803 の取り扱いについて、今回の意見及びメールでの意見を反映した、資料 No.5 (3) の説明資料及び報告書により、運転・保守分科会に報告することについて決議の結果、承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 前回の報告書本文骨子で「本規格の改定要否の判断には至らなかった」としている箇所については、大平前主査に執筆頂いた記載であるが、規約は「規格の改定、廃止の要否を毎年審議し、決定すること。」であり、当時の山口分科会長は毎年の分科会活動計画の審議・決議で本規格の改定否の決定に至っていたので分科会が規約上の違反行為はしていない認識だったため、この辺

りの記載は修正した。

- ・ また、「3.(2) 定期事業者検査の実施状況とユーザーの本規格に対する要望状況」として、「定期事業者検査」が記載され唐突感があるためコメント頂き修正した。
- ・ 10 頁, 13 頁, 14 頁, 等で「廃止」になっている部分を、「廃止の方針」にする。また, 報告書全体を確認して修正する。
- ・ 目次を見ると, 10-1, 10-2 の 2 つに分けて書いてあるが, これを 1 つにまとめ, タイトルを「ASME OM と JEAG4803 との比較」などにしたほうが良い。
- ・ → 拝承。
- ・ 今回資料 No.5 (3) の説明資料及び報告書について様々な意見をもらったが, 各々で検討会後に確認し, 気付きやコメント等の意見があればメールで連絡願う。そのご意見を反映して, 運転・保守分科会に報告する。これについて決議を取りたい。

○ 特に異論がなかったので, JEAG4803-1999 の扱いについて, 今回の意見及びメールでの意見を資料 No.5 (3) の説明資料及び報告書に反映し, 運転・保守分科会に報告する事について, タスクグループ規約第 9 条 (決議) 第 1 項に基づいて, 挙手にて決議の結果, 全員賛成で承認された。

(5) その他

次回タスク検討会は, 運転・保守分科会に報告する資料の最終確認を行うことを目的として, 12 月 22 日 (木) 11 時から 12 時に開催する予定とする。

以 上

第5回 JEAG4803 方針検討タスク資料

- 資料 No.5(1)-① 原子力規格委員会 運転・保守分科会 JEAG4803 方針検討タスク 委員名簿
- 資料 No.5(1)-② 原子力規格委員会 運転・保守分科会 JEAG4803 方針検討タスク 委員名簿 出欠・手段
- 資料 No.5(1)-③ 第4回 JEAG4803 方針検討タスク議事録(案)
- 資料 No.5(1)-③-参考1 「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」廃止のための検討会の設置について
- 資料 No.5(1)-③-参考2 「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」廃止のための検討会の設置に関する書面審議の結果について
- 資料 No.5(1)-④ 新規検討会設置(書面審議)に関する運転・保守分科会から頂いた意見等
- 資料 No.5(1)-⑤-1 第70回 保守管理検討会 議事録(案)
- 資料 No.5(1)-⑤-2 JEAG4803 パートE 評価結果を踏まえた ASME O&M の確認について
- 資料 No.5(2)-① JEAG4803 方針検討タスク(本資料では「分科会タスク」と記載する。)のタスクと分担・スケジュール概要
- 資料 No.5(2)-①-参考 JEAG4803 方針検討タスクの進め方、スケジュール等について(改訂1)
- 資料 No.5(2)-② 原子力規格委員会 運転・保守分科会 2023年度活動計画(案)
- 資料 No.5(3) JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針の扱いについて
- 資料 No.5(4)-本文 「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」の扱いについて
- 資料 No.5(4)-添付1 JEAG4803 に関する運転・保守分科会での主要議論、結果(詳細)
- 資料 No.5(4)-添付2 運転・保守分科会(10/28)「JEAG4803-1999 と運転保守指針検討会」決議の対応方針(案)
- 資料 No.5(4)-添付3 原子力規格委員会 運転・保守分科会 JEAG4803 方針検討タスク委員名簿
- 資料 No.5(4)-添付4 第1回 JEAG4803 方針検討タスク(案)
- 資料 No.5(4)-添付5 JEAG4803 方針検討タスクの進め方、スケジュール等について
- 資料 No.5(4)-添付6 JEAG4803 方針検討タスクから関係者への依頼について(パートE)
- 資料 No.5(4)-添付7 JEAG4803 方針検討タスクから関係者への依頼について(パートC)
- 資料 No.5(4)-添付8 JEAG4803 パートE の評価結果の纏めを踏まえた 4803 扱いに係る考察(案)
- 資料 No.5(4)-添付9 「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」廃止のための検討会の設置について
- 資料 No.5(4)-別紙1 第5回 運転・保守分科会議事録(案)
- 資料 No.5(4)-別紙2 平成8年度 運転・保守分科会活動報告(案)
- 資料 No.5(4)-別紙3 日本電気協会における OM 指針の作成状況及び作成上の考え方(案)
- 資料 No.5(4)-別紙4 運転・保守分科会議事メモ 平成11年3月30日(火)
- 資料 No.5(4)-別紙5 原子力規格委員会規約等の制定について
- 資料 No.5(4)-別紙6 原子力規格委員会組織図案(平成13年4月事務局作成)
- 資料 No.5(4)-別紙7 原子力規格委員会 運転・保守分科会 平成●年度活動計画(案)

- 資料 No.5(4)-別紙 8 運転保守指針検討会幹事会 議事録(案)開催日時 平成 16 年 4 月 5 日(月)
- 資料 No.5(4)-別紙 9 JEAG4803 に対する運転保守分科会での議論を踏まえた対応について
- 資料 No.5(4)-別紙 10-1 Div.1 ASME O&M2022-JEAG4803 目次 (Summary)
- 資料 No.5(4)-別紙 10-2 Div.2 ASME O&M2022-JEAG4803 目次 (Summary)
- 資料 No.5(4)-別紙 11 JEAG4803 パート E 評価結果を踏まえた ASME O&M の確認について
- 資料 No.5(4)-参考 1 原子力規格委員会ホームページ (廃止規格)
- 資料 No.5(4)-参考 2 原子力発電所の運転マニュアル作成指針の改廃について
- 資料 No.5(4)-参考 3 第 8 回 運転・保守分科会 議事録
- 資料 No.5(4)-参考 4 第 22 回 原子力規格委員会 議事録
- 資料 No.5(4)-参考 5 原子力規格委員会ホームページ (JEAG4801 公衆審査結果)